大会名称: 第15回東北大学バスケットボールリーグ

兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: 第	[北学院大学	泉キャンパス体育館		
試合区分:	No. 7A3	1次リーグ	コミッショナー: 佐々木桂二	
期 日: 2	014(H26)年9月	7日(日)	主審: 高城邦弘	
開始時間: 1 :	3:30		副審: 水木順仁	

終了時間

山形大学	° 71	22 -st1- 4 17 -2nd- 10 17 -3nd- 17 15 -4th- 23 -0T1- -0T2-	• 54	富士大学
------	---------	---	---------	------

山形大学

No.	s	選手名	PTS	3P	FG	2P FG		FT		PF		BOUN	DS	то	AS	ST	BS	MIN
110.	٥	远于石	гіз	М	Α	М	Α	М	Α	TF	OR	DR	TOT	10	73	υI	טט	IVILIN
4		外山優子	20	- 1	4	6	13	5	10	4	1	1	2	0	2	0	0	
5		大柴かおる	I	-	-	-	-	-	-	_	1	-	-	-	-	-	-	
6		宮崎わかな	17	0	0	8	12	1	2	1	2	3	5	0	0	0	0	
7		澤田真由美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8		梅本真帆	I	-	-	-	-	-	-	_	1	-	-	-	-	-	-	
9		斗沢千暁	12	2	1	3	11	0	1	2	7	8	15	0	0	0	0	
10		高橋美緒	8	0	0	4	7	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	
- 11	*	吉田園佳	8	0	1	4	9	0	0		1	3	4	0	1	0	0	
12	*	島本悠加	6	0	3	3	2	0	0	2	0	6	6	0	4	0	0	
TEA	М																	
		合 計	71	3				6		12	12	21	33	0	7	0	0	0:00
					33.3%		51.9%		40.0%									

富士大学

	Ė							_										
NO.	s	選手名	PTS	3P M	FG A	2P M	FG A	M F	T A	PF TF	OR RE	BOUN DR	DS TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
13	Н	三浦沙紀	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
3		渡邊美穂	10	0	3	5	7	0	0	- 1	0	7	7	0	0	0	0	
6	*	釜澤怜子	13	3	7	2	8	0	0	4	0	3	3	0	1	0	0	
10		矢内理瑚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11		伊藤杏奈	5	0	3	2	4	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	
12		大川礼乃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		高橋はるか	15	- 1	8	3	10	6	6	2	- 1	0	1	0	5	0	0	
15		鳴海早希子	- 11	0	1	4	8	3	5	1	1	2	3	0	0	0	0	
16		伊藤神奈	0	0	1	0	1	0	0	3	4	0	4	0	0	0	0	
18		松田有紀	0	0	4	0	1	0	0	0	0	- 1	1	0	0	0	0	
19		小田原未歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22		斉藤ひかり	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
24		渋谷日和	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27		杉澤玲奈	_	-	_	-					-	-		-				
35		遠藤鮎香	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Ш																	
	Ш																	
TEA	u																	
·LA	合 計 54			4	27	16	42	10	12	14	7	13	20	0	7	0	0	0:00
				_	14.8%		38.1%		83.3%		,	10	20	U	,	Ū	U	0.00

PST: ポイント FG: フィールドゴール

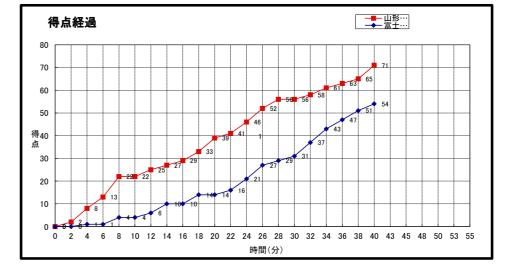
M: 成功 3P: 3ポイントシュート
A: 試投 2P: 2ポイントシュート
%: シュート率 FT: フリースロー

F: ファール OR: オフェンスリバウンド DR: ディフェンスリバウンド

TOT: トータルリバウンド

TO: ターンオーバー AS: アシスト ST: スティール BS: ブロックショット

MIN: 出場時間 S: スターター OT: 延長



ゲームレポート

○試合のまとめ

昨年度のリーグ戦を制した山形大と、同じく準優勝だった富士大の上位対決は、序盤から山形大がオフェンス・ディフェンスともに富士大を圧倒する形となる。#4外山を中心としたオフェンスに加え、タイトなディフェンスで富士大にいい形を作らせない。後半に入ると富士大のゾーンプレスが功を奏し、徐々に点差を縮めていく。最終的には山形大が71-54で勝利したが、お互いボールへの素晴らしい執着心などが光ったナイスゲームだった。

○第1ピリオド

序盤はお互いに激しいディフェンスで得点を許さない。そんな中、山形大#9斗沢のジャンプショットが決まりようやくスコアが動く。富士大は積極的に外角からシュートを狙うが、なかなか決まらず得点できない。開始3分半でフリースローが決まりようやくスコアが動くが、山形大のアグレッシブなオフェンスを止めることが出来ず、開始5分で13-1と山形大がリードを広げる。その後も山形大は#4外山を中心に得点を重ね、22-4で第1ピリオドを終了。

○第2ピリオド

富士大はゾーンプレスで山形大を苦しませ、27-12と差を縮めたところで山形大がタイムアウトを請求。ここで山形大が上手く修正し、富士大の得点が止まる。その隙に山形大が着々とリードを広げ31-12とするが、なおも山形大は攻撃の手を緩めない。#9斗沢のオフェンスリバウンドや、激しいディフェンスからのスティールを確実に得点に繋げ、39-14と依然山形大がリードして前半を終える。

○第3ピリオド

後半開始から、富士大はゾーンプレスで点差を縮めようと試みる。それに対し山形大は落ち着いたボール運びで対応。ハーフコートのセットオフェンスで着実に加点する。富士大も#6釜沢のスリー、#11 伊藤のバスケットカウントなどで応戦し、互いに譲らない時間帯が続く。両チームともに球際の強さを発揮する場面も見られたが、56-31で山形大がリードをキープし最終第4ピリオドへ。

○第4ピリオド

開始直後から富士大は1対1やピック&ロールなど、多彩なオフェンスで加点。山形大は徐々に足が止まり始め、ミスが目立つ展開に。富士大は正確なミドルシュートなどで、残り分で14点差まで詰め寄るがに発して、まるといれる。

担当者:() 東北大学バスケットボール連盟